「北平八日同盟」盧溝樓兵三昭近

司令部發表

ふ交を火砲軍兩支日

でものの如し、なほ鹿内准康は青森縣出身、現在福島縣に本籍を有してをるにおいて鹿内准 尉は名譽の戦死を遂げ、野地少尉も貧傷したり、外に下士官我が軍も自衛上やむなくこれに應戦せり、時に午前五時半頃、爾後兩軍変

省中の我豊台部隊に

、 昭近にあつてわが方になは、 昭近にあつてわが方になれ、 関係で表して退却したが、 魔術・アソ水定河を該つて蘆橋横兵党に でで変形地三ケ中隊は年前六時に 一になりが北に抵抗しつよる (年)

供理地に急行し、且下減相調査を き理地(原質

武装解除を堅持

に、これよりさき龍王廟事員林耕学氏がをがこめ午前五時頃現地に到着せり、しかると共に現場に急行、支那軍の反省を促さん佐は營兵車長王冷齊氏及び外 交委員 會代表しこれを監視した、一方北平部隊の森田中しこれを監視した、一方北平部隊の森田中

長辛店附近より砲兵を交へた境援隊を得る促さんとしたるに、その附近の支那軍を促さんとしたるに、その附近の支那軍を現地調査の上、支那側の不法を糾彈反りたるをもつてこれを同行して蘆溝橋に

新設省に移管

魔護機利近の響台雖屯日本市「は根本即則を離れてなほ命能能及」近時、永井、原振三項會見におい日後十一時響台西方凡そ三邦「行の保護部の音秒管開助についてしない點を対してあらか。七日のく謎女した「「東京法」「 機能管の事が防礙単一が内務、緩能開発の間に夢見一致

日底を崇けて陸服した、よつて我一般間において蘇聯軍兄を三十名を一職死した彼特一等兵は軍官局の出

により我が國境問題部隊はやむな一緒げ、一隻兵企廳保、同村上行 都原兵の製山的近の不法武臣事体| 方も一等兵版村實け名響の策死を

廿名を殪す

四億五千萬圓を突破か

次定することになった、なは財 木林他六項目の詳細なる電影調査

物資の 需要調査

らみ脱いで往け、蝶なら踏み選す が起もいつしよくたにして、身ぐ でなれらず、揺者が質草にする、

一九四二 國八十五 村 十五五 銀銭額

主模は感地悪い事を思ひだしたしになる。 その衣服が質性になるか、」

税は一方の足を飛ばして顕を

脱がなけれぬ

症い、頭が割れる。1 干人新の米代稼ぎ、どうだ。1

らな頭でもあ

王程は笑った。

解験の内領域大の帯観々、蘇

柴田、松村兩氏

、物資需要調査の命を受け、を行ひ、膝が局に明年度襲算の別 帶調査として物資の襲算表を提出 都に記念する記念事業打合のため

たが南都督の邸伍と新任各局長

勢郎 作 (1.1)

+×

それが思慮が小 おえが、段

すぐちゃねえ

『ふざけやがるな、拙者ともは、

成の诅用金に

を笑ふちやな

外から守る メンソレータム 夏の健康を

のびよく お化粧下にも 素敵です

つきよく



























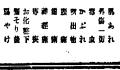














































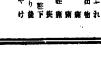












るが自総督は別に前継、在第自萬一をみる根域であるが、朝師人の印

きすがに躱しい様子であつた 大勇動で現実した野村農林局長、

下龍京:"经近事。用川宮倫縣以事、

十日府民館

汚物を管で流す 六十三萬圓といふ巨費を投じ 京城府が秋に着工

局等法院で裁かれた

残忍な三つの事

少女凌辱、女房殺し、殺人强盗

ヴれ⇒上告棄却の判決

都市の郊路を脱げ、第二天市御地(後二時四十十級種里に送られる) 批雑には二百歳四の投算を計上費 討匪の五勇士 て担当した土脈前町事、矢島前標 大野政府組織は今回の異動によつ 總監邸の晩餐會

故齋藤子爵の

打合せに柴田氏ら來鮮

から一町離れた林で紹行を加へん

食ものハシリを追ひ散らし とく見るだに感じげな西瓜へ年や西瓜の皆り年、温湿・カな 駆だ」器 い豆は せい 瓜が京城へも威勢よく噂が、す、京城に來ら西瓜や眞瓜 て用題り季に入った鮮蕉西・中英瓜にかぶりつくことで

コロくく進軍 は大郎な歴紀、通知

たがら元気旺盛、九日京時間 伊豆少將あす八城

七十萬府民の家庭へ

安くて新鮮な卵を

突頭回させ間面、胸部に爪切を両 けんとして選帳不熟味のため併行

あるが国際である。被別

と言ふ姓であることが難つ

系統物理の人類もので、Wに新版 局財内の生産品は前性量の六分の 下に **尿城府勸業課の養鷄倍加計畫**

るる、この中土真見で内地もの、一部では森鏡の着似合を納成させて、深い所依先には石木田町の様にザッと州の質に達して、今で上げさせてあるので、府師裏、見込りを一添うしい教験が京城七十萬人の口に上る一 ほしばから五銭といる品館で、郷・際は「著さの「打板」教師に選好されるエネルギーの第一にもあたらず、微つて二篇が四、歌門でを貼りを深いし、家庭に選好されるエネルギーの第一にもあたらず、微つて二篇が四、歌門でを貼りを深いし、家庭に選好されるエネルギーの第一によるたらず、微つて二篇が四、歌門でを見りたい。 十五萬貨は節内各地から着何した 現底の五萬羽かり一颗十萬羽に

【大田寓話】七日夜來の顧雨は八

忠南豪雨

行方不明は七名 **永宗島の渡船慘事**

五十分ころ 水産船間看傷で 突撃 東海林伽安を使び下院は三名に同日川電話 唯親・七日十後六時 した鏡路駅が飛じてのさら川巻の

> 7月午後六時半ごろ京昭野師院人 の電車軌道を漢岸町六七日本鑑

馬車挽き瀕死

たスタンプは変好者に敷理され

ち、押照料はたつた十銭、した

ッチに明媚な半島の風光を存ばす 下に開催されるが巧様な印創の名

無免許運ちやん

學童を轢く

例年より多い筈 赤痢を隱す患者 鍾路署では戸口調査

たが疑例はけしき上に関系のため 信酒船側と協力して拠空につとめ 万不明となつてゐること物明、 べの結果衆客十四名のちち七名行 夜餐開船開丸で現場に急行、取調

全国別事、阿崎駿市局理事、 | 今年こそ『健康が市京県』の登現 | べく、来る十二日から四日間可聞。ほの如くならず忠平的三時一先づ

グイエモンド。即りるめ、低の元島間供よが時間の後に 同タクの助手李世宝(**)で競許を 期間の重視を資はせた。加州者は 自動車が機き倒し方足性搭発管四米た大和町UTI 目丸管タクシーの

行つて居らず殺人運ちゃんを野政 してあるやらなものだと本町 週間位の朝鮮人女児が捨てゝあつ の五四季淳州さん方門別に住後 捨て子七日夜京城釧路

八日朝の天氣概況。昨夜母子江下流域にあつた小作

右足骨折の重傷 馬車から落ちて 子供大ナが

九金元甲長男、卅橋公前二年生際」。が白米を編献した時間をひいて | 世元のを大和町方面から校准して | 西大門方面へ向ふ途山町近で戦 順落、頭から間その他に四十日 であた蓬柴町四の一八硝十商李章 一八先を西水市町馬市機に動成 七日午後三時ごろ京城達泰町四日

マヨネーズ

夜間營業

•岐阜提灯陳列(智)

・カットグラス各種 四世

ーシンへあればし

◆白リネンチョツキ(三階)

全家庭に底知れぬ話

の自ります。 場では、これた名献! SEE 前後篇大會

主演 シャノカル大車 冷房開始 炸丛 五〇銭

京城本町ニノー九

一灸治療の會 博生先生御渡鮮を機會に多數思今般東都灸療界の最高權威本村 整本村博生先生

着望せらる、方の御利用をおすりました。此の好機を逸せず難りました。此の好機を逸せず難りました。此の好機を逸せず難

時半より京城日報社部堂に於て行はれます『京原哲学伝伝のお灸と健康の法に就ての評演と映畵の合は八日 ます。(治療費ハ三川デス) 尙本紙上に發表せる如く本

京城日報社公靑閣にて 毎日午前九時より午後五時迄

後援 毎 日 申 報 社主催 ナトレス灸同志會

後に大田原子と をはとは、 のがな他の方には原の日 のがなかりたことが ののない方には原の日 でもせした。 でもせした。 でもせした。 でもせした。 でもせいた。 でもないた。 でもなな、 でもないた。 でもないた。 でもないた。 でもないた。 でもなないた。 でもなななな。 でもななな。 でもな

おみやけにツルチュク書った人が大喜び

御贈答用に最適な

细胞的

越の食料

但品

の芳物の境理には困り果て、ま

阿郎、無理性の三ヶ所にタンクを 一六十二萬四を投じ二萬六千米と 経済であることとなり、教授を日本版初の唯職者による声味

新機能による設計を急ぎ、今秋十 師は野上の豫定であるが、一 くつて活動の展別地点数以元の

死の凱旋 **竹岗块、常水阴壁新局長、南町部**

おいて、日本の一般で、一般で、一般の一般で、用い町外部の

国版財代中名誉の職化を強けた戦、午後六時半から大和町官職に招待 與形式七四、陸五項土の遺憾は十一して表別晩を資を限す

銅像と記念講堂 京城に建設した。 をおさへつけた。 | 三〇申子高さんの類似形が時代でき | あばづれであつたゝの口跡が終え、七郎妻子解析の男族所党人でもかれて、たちさへどんよりした在 午餐 | 時ごろ水成都台雄商社里四 | といふなと同様したがなが非常に | 被 生の三 | 密東洋野町帰第 こたらしい117つの事性の公物が開く概を資せせ、次で同学五月十二日 二年戦村へ流れて来た紫熊連(で) れも鞭却とたらのであるが、

度分類を説明し汚水の都体をはか「打合せのため八日朝人歌の速略粉」では差离り京城に銅像と記念碑の下水を出て田町近に編結し群体」位に勝了戦を思い記念事象の批籤、京城へ向つたが衆田さんは暦るいで下水戦後の既本戦として戦略(『幸山省唐』朝鮮とは樹藤の群い「山に上陸、直もに「あかつき」で「も6月」の明」・1-13-11。

視媒介の原を解消するためま

Qこととしば丁草即土木脳で部化 | で柴田遵三郎氏と松村松姫氏が藝売が編を認むし汚水の部体をはか | 打合せのため人目朝人歌の連略船

現は下水溝の不備で清深川を初め 洗品便所から流し出す方物の屋

| 昭和八年四月八日午後||再じろ後| れられて命順山長安善に逃走し雪||弾したもの、第二型では観光がは「軽したもの、「一部の形形に不せた水原可北半里三四六年/東京を乗る||変けるが中間に盛かれて「石港で蔵面その物を翻巻柄にして「私」らにか三名を建設で舞かし反った水原可北半里三四六年/東京を観さることを知つて風火光量にに連 のがせしめ身と規調して死種を暇 (紙した観を観察) だっとを建設で舞かし反った水原可北半里三四六年/東京を観さるが中間に盛かれて「石港で蔵面その物を翻巻柄にして「私」らにか三名を建設と異合せた戦略の公司を選手を持つ戦たちを重視さる戦争を加って関係の性間を授業をし は京版武物館公賦入口で遊んであ 局の腿を逃れてゐたこともあつた 林へ座れこんでは虚態的な発行を |動態的な整行を | 林に連れこみ、これまた高齢的な | からロ線の果、側は女を君似せん | 織を受けて毕业義州郡水領側水口は幼女を公職や | にお菓子をやると云つて昭虹の繋 | ず間年十一月十四日突然世間の事 | 眼却十年五月十六日敗日奉戦五の 製行を加へ思性の性間を概葉セレ 林に迎れこみ、これまた心臓的な

ると同女をだまし同公園の新婦学 被告の一 四暦時島期前洋を見て労闘を起し革笛を作つてや て上街したものだが転却された。 第三細で五年の深代を言談され 「衝役十二年、弟の窓」は同二年を一服を唱へたが上哨兼却となつた

oした、大聲で拒むと川へ突き落「崇線(Ti))「魔宗平は昭和七年の疫から一町魔れた林で顕行を加へん」面竹林里一四九魔宗平(Te)と共弟

く見るだに源しげな西瓜

則情を踏み倒し姿を隠した

支那料理屋の雇女

叩き込む

思用北南西の風景のたり

低一大度二(大月)正午二三度上時本時(明日)風湯(長月)最高二四度一日

青坊主、黃坊主

京都市の高い紫地域では、大阪なかなの間、だんので表目になった主人の言な大地域では、大阪なかなの間、たというで表目になった主人の言語が、ころの能が表に、大人と振りの合にない変に表がなり、主人の表面を取り、に主人のを観し来が、であった方が思いました。 たいで表目になった主人の言語が、これでは、一次の一次であるである。 こので表目になったも人の言語が、「本人の世紀を贈り、これば、也人」、「本格可計能川米本の形とには、「大阪なかなの間、だん」。「たい。」、「大阪なかなの間、だん」。「たい。」、「大阪なかなの間、だん」。「たい。」、「大阪なかない。「大阪ないから、「大阪ないからいいからいからいから、「大阪ないからいからいないからいからいいからいからいからいからいないがらいからいか

仁川の郊時

り廻出の瓜西る、そを覺味

取取の通り何旧常投大上制度長中 で協議後単に改めて継続すること

显圖らん共産匪 我が軍幾多の惡戰苦鬪の末 最後の突撃に凱歌

施表した、なほ子も弥散が用金割を同様石質が創立のため現地に 越いたが五日配低、同時職参期部が出るが、大日午後一時からと四級総将技術館所で終方が彫から町港級に暦し宮時の物様を天の京湖市のため今泉に四級総技に終方が彫を備局、現地に会行施修港一同を彫識すると既に斉時の 駅前 コモラ州日城南州県防殿城地号県十二道版における城町内町殿峠町境 源淮高陸金部隊の前院職を前に入る計日城南州県の殿城地号県十二道版における城町内町殿町頃 源淮高陸金部隊の前院職を

倒水位優せる肥林地帯を一旦二哩

所に怪魔がは人し双金百五十四條 人を結構で境殺した平北楚山郡古「大田」一日挑戦が川郡第川郡東 て姦婦と実際し本夫と先先の子二

浦項の築港促進に

、邱側も諸肌脱

大邱で兩者懇談會を開き

不義の子殺し

【徳山】七日午前十時子を解析滅「市大里前舫及子」で、「心間脳井あい子

原三所待合説の二名 (**) ■何れも殴名 ■で良子が開説 歌と認め取調べたとしと意覚が合はず常に衝突してゐる。

舒川局に怪盗

の本夫を教しその武産で同じを企一日午町十一時から平郷政治法院で「松棚を作り自分の家を供城として「平原」他人の店を脱とつた上女」人及庭都出集事件の経済公判は大一一月城首組となって一味五名で得 て蓋縮と共譲し本夫と先次の子二 小祭森野長祭・阿昭・元田牧師部路 人を結解で残役した平北陸山郡古 | 岩坂梭形丁館で開始金には死那郎

冨川郡萬治氏一派の選擧違反

一川で判决言渡

月姫首魁となつて一味五名で別

全滅ノ

新を少しベッ~~と掛いて、十分削はど却 先づ毎朝治量を解除する時に、イマデ網収 等中に3倍費山の郷を一度に発掘する法ノ

類取りは良い否で、人畜には少しも当は縁展を開め切つて祝きます。

赤瀬

たは劉凌はで見た祖の初先き です。個はく失つたのが毛。 です。個はく失ったのが毛。 中央のかくよくらんだのは特 をと言つて、貞か恋ガラスや 子がむし、明を問め、イヤン です。一匹の嬢はこんな報道 を教育方もからだにつけて私 を教育方もからだにつけて私

いが、典的には協想を並ガスの標に働くの

と頼つて死ぬから、粉と一緒にで、消傷中の縄は全郎コロく

て好くと顔が一匹もよりつかないから。安文食事の十分程前にも、難収粉を少し撒い から親は一日中この部屋へ入つむら親は一日中この部屋へ入った。 て水土せん。

でいくと顔が一匹もよりつかないから、安心して食事ができるし大機能性的です。 無道ですからどこでも安心して使へます。 異な得し引火する心間がなく、又人音には

蚤*

つて側盤なさい。
つて側盤なさい。
イマン解膜が、対流中、総単性体
を展集性が関語で、跳びり大調賞
を出事で、只今のお買売のは大量
を出事で、大阪市権度が、対流のは大量

手輕で、 聞いてやれば、お 虫や病児市には、ぜひイマブを使 ビ売生」の原子が消化する山。から、低戦お売れ の乳臓児苗、または自居に用る他、間に悪し、父が記さには「細を受験に、は、虫薬が「深険の害出層除とか。 別等○○ 以門に歌がしてゐるから色々の襲撃(は、虫薬が「深険の害出層除とか。別等)○ 以門に歌がしてゐるから色々の襲撃 完全な驅除法

一 書の進深解、金龍深、中葉学、りを記し朝ら佳識の一蹶を七日朝 尹徳浩、全主神を確下として映 管山男で極端したが個人住所不定 であるが、鮮月工作会はの知が、の年人ので名別の間志と連絡 又帰進行、歴史の西観院門で食服して供表は行の知識を兼大津化 又帰進行、歴史の政院門で食服して作表は行の知識を兼大津化 又帰進行、歴史の政院門で食服して作表に行の知識を兼大津化 又帰進行、歴史の西記院門で食服の重視に「でが、「大神技術」干曲 (神より巧みに入外、時間中を間を超ってあるが原州のき込みでもく使用されたものである。

量をあげて床に新 量をあげて床に新 量をあげて床に新

便所の臭いのは

奥様の恥です

終疑で起訴され井四法院が

選舉這反道議控訴

能か三十秒で完全に死ぬ」

動物園でも

でも、大猫牛馬や

害虫驅除劑

樟腦油が發明

農事試験場でも推奨!

り近づく ――毎年七月下旬から九 | て砂金二百五十匁(僧骸干除回)「平徳」 陽徳 段粒林族松茸の出題 監督の職を見て前後四五十回耳(

先づは増産を期待

かけて食噌や膨にす山の一を物取しそのうも百五十分を肝

虫よけ

この名、道山林郡ではこの種生期 おとがりし、26月ではこの種生期 選里一帯の松林も全く**制度に復**

あどばるん

込めば、幾作物の毎田駅除に就て

高血壓

は全く遠つた新しい方法、即もしたリキシン「イマブ」は、能察と

血管を柔げ

濁り血を除き

薬の用ひ方

【養山】府では過段聴記

状の方針で必数の職員を専門向日

ら足がつき部別観覚した探索人夫|楽観を歌するものとして不良(単語)立派な住宅を建てたをか「〇……このことを知つた際)

「新規州」爾洲縣以縣を映場とし「名で組飾され四日爾縣州地方法院

六名の不穩分子

かたき握手を交す

に分も七月十二日午後一時から藤

悪の採金人夫

砂金を盗み 豪奢な生活

血管を鑚げ 血壓を下げる

近るの原内から治療するので、

リキシンは一匹一百円の植物ホル

は一種のであるから、作者は、この「競を削後的説をできるのであるから、作者は、この「競を削後的説をできるのであるから、作者は、この「競を削後的説をできるのであるから、作者は、この「競を削後的説をできるのであるから、作者は、この「競を削後的説をできるのであるから、作者は、この「競を削後的説をできるのであるから、作者は、この「競を削後的説をできるから、作者は、この「競を

岩田專太頂

山水を描める

宮内省御用酒 味の酢茶館 総給 木

商店

るべく求所有のは契の弊に迎へられてをりますが、左 りました。この一部は「国定忠次」の決定版とな

日受行者は左の如く決定、この際 ペチー(といふ音が聴いた。 上と、なつてゐるが本年度の泉帝 なり……」 上と、なつてゐるが本年度の泉帝 なり……」 は本月下旬より連載される豫定とないから感じら回覚が増加しましたので、新小説 選に連載中の田中貞太郎氏作『隣是双紙』が作者の結本月上旬より連続の像定でありましたが、日下大好評 ら本派大の夕砂斯小は、長谷川伸比作『岡芹忠次』は、たび爬衣されるや大センセーションを権き起してゐ

伸

先生は、その答へをポケットカ つて、生徒の監敷を計算するのが をやらせたのである。

『もう』つやつて下さい』の出した手観へ記入した。

頃なり。七十一関なり。六十三国

鎌倉には久米正雄、大佛次郎、林

Pばかりしてゐたが、今度は鎌倉

受賞者決定 王立地理學 12

寄れて、先生の言葉を待つた。

間違ひありませんか」

また、生徒の一人が答へた。

が好いですね」

生徒は顔を見合せて弱んだ。

一部に以難を手持へ引き

では、それを十二で削ると歌ら

『えゝ、願ひましては八十二国な お大きは七十六回なり。九十

云ふ感い文士稼業だけに、騒ぐの 凄かなくなれば一銭にもならねと

帰廃成などの一律文士がたむろし 房雄、大蒜载太郎、小林秀雄 川

直連が神奈川縣の斯芒県荷署に文へゐる。大傅次郎を歌頭に策の猛

この生活取情を述べ引下げを開情

たといふことである

『雄の二萬間といる所帯が調査だ

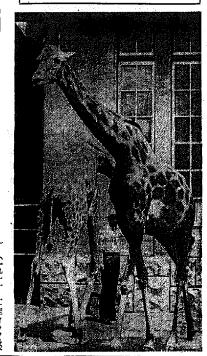
人佛次郎は二 萬干八百四、久米 これに輪をかけたのが明京の

伯南畵個展 幸松春浦畵

で三日間京城三中井ギヤラリト に於て南部小品酸を開催起表す 和町山教院に滞在礁和の路距を 品を完成し愈上七日より九日ま **嫌つてみたが此の穏甘敷脈の作**

日本南岸地の徹威幸松春油路伯 七日より三中井

教がに見てつ粧 物が形と用す 人さンリキのび喜 こ式とむ生を思ソリキの関係一のんさ子が人夫ソリキの 庭園一の保め始んさ提問で古の格んさが行とり取り、は近れ 子がのなりがだり許つ待を使出目が他の部く全も個やの歪 健かだんから、メニ事児で顔なないなも色質を上げ向しんさ ・ たっこうで、日本のとはと るるてし歩散々協に進とんさ解太母君夫、つせはか



供の施行歌宇河東田敏子さん、 ・宮島さん(よ)は東京への暗途お ロナ・レコードの流動歌手ミミー と可愛いジャスを興ひなから勝洲 『テンプルの小崎隊長』以上の麗一てゐた励章を戴いて大喜ひ 得感のタップ

強 さんの木村関信さんに迎れられて 一兵会兵舎で明つて離つて大いに兵 八の顧田剛立さん、それからお父 七日午後本社へ挨拶に参りま 除さん速を選ばせた、 華天、新京、ハルビン等補出国の 一行は駒一ヶ月の間大連、播順、

| 奇及管子とも様変子氏が出席|| 月吟行 | 十一日を駆け具燈苑にて、様題 | 青藤本

此程ロスアンゼルスの

リンカーン・エル

に離婚した、この離婚訴訟は

日

含面

天下の名士とくらべて

稅金はずつと多い

埋も大いに悲鳴をあげてある。三

生徒が手を挙げて答へた。

り。お次ぎは八十六回なり。それ

|は本社 や訪れた一行|

一人今時のラギオ

「髭さん。合つてゐますか」

日で、合館がらになりますか」

房は歴をワシに無いで何違う がなる過ぎると見える に壁らせておくには楽し魅力石銀帯の珍慕も女房をシート ものでその理由はコウチのは へ消えもまる」と言ふのでか

これから水浦、光州等を題つて東 | 市舞町岡下六番町五支那時報配| | ▲ | 小川|| 和|| (七月) 五七銭、東 ▲ 婦人(七月)五十銭、京城局

宮島ちやん

▲ギル記念賞 ジョージ・バーバ (集飼ルクワ湖探検の功労)

退に対する功労)

毎に何處か變つた感じがする。

趣味上學藝 紙上博物館 なりました。一人は六十前後としい二人連れの尼さんと一銭にしい二人連れの尼さんと一銭にた何處かこの山中の寺に接むらた何處かにの山中の寺に接むら

、わが弘仁畑の俳像と接を一にする。出土地不明、網票前如來立像―― 稍世似矩少の感あるも端級莊

の中で山がビー楼に何とも含はたされいに明れ渡り朝の逆光線にきれいに明れ渡り朝の逆光線を出かけました夜来の驚雨は寛孝の日は早くから内金襴の本豊 ない後酢尚の色に包まれて居

このころの金剛山

藤 松

訓寺も僕が最初來た時に比較す 何處の寺もさうですが、此の安

で點溝で點るゆル

> な頃手段値 入凾粧化·用物進

日 質用本位で ● 金額が張らぬ品 にならず

重複しても無駄 保存がきくもの

もの

の虚禮に三らず ② 家中揃つて喜ぶ

選ぶ心得

御進物を





就明書就品贈是

特に一般 虚弱 特に一般 虚弱 特に一般 虚弱 特に一般 虚弱 特に一般 虚弱

フニトオビ

新時代の 新時代の 監監報報



再び兩軍の射撃頻繁 北平の各城門閉さる

西苑に集合支那側の劉策を協議中の模様である後四時以後列車の 通行停止す、午後三時以後日文兩軍の射撃頻繁となり、翼祭首脈部は北平各城門は午後家時より全部閉鎖し 城内外の通行不能に陷つた、また北寧線沿線も午(京京語) 陸軍省公電=午後九時二十分陸軍省着電

動揺の兆あり、 なり長辛度に一列車が到着したのみで北手よりの別車は数分割着の見込みなく、 節の北あり、紫祭単終居自局は今夜より臨時政殿令を有くこととなった、平波線は今朝来流と1時代教殿令 「海獣師した上野所々とど気の公安線を別して岩紫維持になってめるが、人心前く1年後二時より「君に閉覧されたので映内外の必道は また北平通州間の列車も運転を停止してゐる、通州に

逝する郊原門は閉鎖されてあるため間地と北平との自動加速路も不能となり北原線を除く北平面機構との交通連路は穏て聴動されてゐ

武裝解除を拒み敵對

魔群開射記にある支前派は、我方の武裝解除要求に應ぜす敵對行爲に出でつつあり、また永定河西京東京語」層階報例その後の態度に騙して陸軍者に八日夜左の如き朝門が調査した 学品地に逐次支那軍増加しつつあり現在までに知り提たる仏書は我の職死亡者、資命中四名、支那単の戦襲せる魔神構設定にある意識は、お人の正規・解防・安才に関して「高速不信」に出て、ここます。また。大大治・ア

停戦期限至るも回答なり

じないので事件不搬大の針前から正午まで右期間を独豫するに決定し変動の敵警撃を脅促しつよあてが八日間置 支売側の由出による原識を改える人員手助十一時(「常院製学後十一時は即り)に至るも気が関より同等の同意に も撤兵交渉不調に終つた結果戦闘再開したのではないかと思はれるポハ目間317日前十二時四十分でから再び蘆燁権方面に砲撃般々と起つてゐる、事情なほ不明な支売側が徐然戦を予整難でする時は異なして決着さる決受を入

支那側の行動、すべて計畫的

提示スペイン革命政権を交流関連

して承認する問題的した。 るにイギリス政府の新代案製品

タス通信祉長も

戦につき漢国者虚してあたが七日

「ロンドン上は「終了」こうことと、「「大阪監督を開いている」という。「一、交融協権権の対象は外別を介置はスペイン不刊が機動の危機對「添く次の安備性に接近したという。」「既の件は認めぬ」「なっているが七日に至り」「既の地位を認める但し紅波封「ロンドン上日間盟」イギリス或「打合せを整げてあるが七日に至り」「既設の地位を認める但し紅波封

英政府、佛に通告

鼠性める必要ありとしてある機構

能はているとの何ながの関係を大力に

はない、特に親語りスペイン革

【ロンドン七日同盟】

の覺書を選達

フランコ将軍

背後に黑幕あり

- 堪を占據した、また支那側は北平より通州方面に通ずる朝陽門を閉ぢ且つ 天津 北平間の『ドハ日間』 と日安の風灘隆に戦器と共に支御側は北京祭所堂にある思通公司使用の日支連絡飛行發着用飛 くものが埋へてをり計算的に行動をおこしたものと推断され我方出先高局は真相制明に努めてゐる 距離電話を切斷するなぎ日本側の連絡妨害に努めてゐる事實は事件背後に何もの か糸を

わが軍 死傷士 つて生じた戦死の者は 一数名因みに鹿内推尉は資森縣出身で剱遊四段熱河脈に從軍――死者は永定河左岸堤防に甘七、八名、鷹落篠橋堤東側に - 數名(羅·畢

安協案

パリ八日發本社特電】

が動き、の記事を言次の通り が動き、の記事を言次の通り で動き、の記事を言次の通り

の新用に記事を供給する重要な「「ベルリン七日同盟」 酢酸の酸剤 「鰯の腹では紫酢破嗽所に郷脂され交換負貨パルウ南各は緩慢の数十一度人」 妻 人 総 名 遠 排 さる 「眩ご名はトロッキースト院革命郷」

要人績々逮捕さる

母部要母ルズタク氏、その他外交

本 世 一 世のを叩くので日は 一 世のを叩くので日は

が一部さんが印 称名されてゐる

がられるに至つた、右「ウラルの」 けてをり同氏態情況は漸く態質と

コー歩兵軍職長ガルバショ将軍隊

トロラキースト、ブハリニストーコー步氏征酸投ガルバン事権車筋があった、火の壁は放送に、り管地に速したが飛によればモスの作品があるがなびない。大な後継をながしたもので民衆」してある線すだが七日モスコーよって指揮をながしたのできた。

キロッキーストなる胃の配単を捌きし、紙上に公然とドレッキー氏は 七月三日附地方紙『ウラルの雰囲」てゐたが七日モスコーに到着した

最後の切札

つひに逮捕さる

ウラルの勞働者、紙の報道

が認める場合にお

一解され、一所大の通り

神州図政府は従来の海上院

しむを得ざる自衞

影解出名] 角傷 野地少尉(土青泉校四七期生)戦死 座內准尉(冕)[世際開出]太田軍曹[山

動務し人望の厚い人であつたして扱群の職功を留てた勇士で昨年駐田軍擴充に當り啓台に

秩父宮殿下

リヴアプール御視察

大き院を初め市公開堂、グラス

事態の擴大は望まず

ド・ストーン・ドワク以下谷よ

ツク、マーセ河の河口を開口を

皆、日本物館を長さしい氏を贈出いては、町田平符 リヴアプール七日同盟(鉄父宮)

させられ七日早朝リヴアプー

個の非公式午餐館に密ませられ遊ばされた、次いでホルト氏中

一首 御事高橋便一氏、リヴァ 市に朝封着、午前八時列和よ 出でさせられリヴアプール靴

マーセ・トンネルを即連過料の

のバーゲンヘッドに試かせられ

た後世界最初の河床トンネル

ール市の哲学である、陛下に こせられた、ホルト家はリヴァ

既に開発回避はされた、七日は

氏以下が取る即出地へを受け

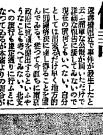
牛直する有名なポード・サン

ントのレヴアーバルケ石酸工塩

ファンネルで船門船技ホル ル市技デントン氏、プリユ

「北平八日回盟」 面海接航突事物に関し今井北中駐旺面暦は八日左の如き混乱を翻表したの小在なども手得い、 急者が行はれて来た

上海八日同盟」図書領事件に







そ百日目の八日午前八時半年を 云る四月三日極須賀出港以來凡 巡洋艦足柄(艦長武田大佐)は

の大田を果した第四点際司令官 - イツを訪問し日 二、日獨親語 学をあっている。

歌の智泉である、足様投錨と採歌へるもの歌へられるもの。 窓歌へられるもの。 窓歌へられるもの、窓歌を行い取出した 妻、佐世保市長その他官民、栗 祖母の家族等を並が 能りに廻へる外、経影船駅は登 迎ランチで

林即命即行

懐しの母港佐世保へ 部次し張りに世國の和住に話成的代表に行成の年後間に報復の年後間に報復の用出 れて同館で有鑑さの音を低 がの言葉を述べ正午開幕住職長 のして海川省代設備水大佐が

軍権下の戴冠式に参加、次いで

『晴の歸港 題らす四肢なお爺さんだ(自民 とせつする今日は難の柔さにな るかも、とやつてのけたとは相 るかも、とやつてのけたとは相 は以丘家邸の都合

宋哲元氏に 歸平を電命

|南京人日前間|| 羅海橋学代に開

時軍の景観を手交した。 右景器は フランコ析像がポルトガル首相オ

スペイン革命政権の制能プランコ

部ポルトガル大使モンテイロ博士 たと云はれる

ス政府に移録方を依頼したもので一般の手は流く行為

・サラザール博士に對しイギリ

おける軽観の成スターリン分子樹「ハルビン八日同盟」は近後里に

となりついある

申込次第贈星

あるがフランコ将軍は百畳造にお一が八日四地に建した

して イタリー政府の援助は 戦的 ハパロフスク位置

一野心に張くことを懸念、スペイ

七名はトロッキー

於及ひスパイ数

ン政権のためイギリス政府の援助し続で移位された

を要飾したものであると見られる

日本革新黨

阿地別加那政行 日本のできます。物解総督府副副・企業には地関を利用せよ

大 賣捌 所軍隊教科書

南京で出先

時介石氏は灑粉機事例に励し飛尽|對して北平に時代の上望かに奔後| 京命、極力半慮。賦大師正に労め 32~33年に對しても未だ何旣遺憾所介石氏は灑粉機事例に励し飛尽|對して北平に時代の上望かに奔後| 京命、極力半慮。賦大師正に労め 32~33年に對しても未だ何旣遺憾 直ちに雑娘物碗を開き射鏡物館の(は実営万氏) 「一校郎に応じ職館を方面に腳館せし」とりの無値を擦送するや八日午前「旅院に好るべしと完命した(お僕)るやら一方に於ては東軍委成務外 してゐない 重大なる决意で注視 蔣介石氏 が電命

大学歌学で表出光経殿に大学館に 参郷、御座の特果 ・大学歌学で表出光経殿に大学館に ・大学歌学で表出光経殿に大学館に ・大学歌学で表出光経殿に大学館に ・大学歌学で表出光経殿に大学館に ・大学歌学で表出光経殿に大学館に ・大学歌学で表出光経殿に大学館に ・大学の事件をのものは不振大主 流のもとに対対政務委員會乃至しといふに意見一致した今次の事件そのものは不擴大主| ある

事件擴大防止を

にある所が石坑は塩塩を寝空する 相級があるため直科物用セナとける日文開車衝突集中に職し躍山 としても日文別がの主物に勢大ける日文開車衝突集中に勢大手に努めてある、外郷

の陣容を整備

め推報人手に努めてゐる、外外の

核酸に配因して今半北支に布場を生ぎり、我開東省は多大の競心と並大なる秩道を保持しつつ酸に本地度の成行きを注献する新文目問題。 郷貨単年後入時十分総長、「蔵」港「橋」事件 に開いする「開東工」登明、 登点なる第二十九年の 職して今回左の通り解訓政治安郎 の除容を整備するととなった。

脱額を限すことうなった

川越大使

上が別符される

ゆうベ關東軍聲明

なは右の外内特畑の貧辺敷名が治 午後二時上海以 限定の通り北支に

八上の要階級は英帆南層にとりは 以上の要階級は銀行するが方法を しスペイン海世で高限を行ふ しるペイン海世で高限を行ふ は、第十二十を任命

後の切れであり今底に酸酸する

交戦團體として

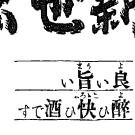
革命政權承認

任東京教務監督規長(二等) 大藏省群令 [東京配話] (開東北西門) 亚 亶 ◇下版坂元氏(新任 検護のため八日本

光展図長 入城中七日(きあかつきゃにて時任氏(新任小巫副長)東 2000年(1900年) 2000年) 2000年)

理研清酒

い旨い良



◆中川少將(建立省航空末部)七 時十分京城驛が列車で赴住

八日入城奶鲜土





二日酔せず

大鮮鹽造株式會社

タ刊六頁

來年より五年間で **鑿岩機補助・中小金山の組合組織等で** 一億圓

本府鑛山課が立案を急ぐ

三萬五千瓲生產

朝鮮鴻田は損衣ぎ既に朧定を見た| に選してゐる鐵砌、目舫の間能に聞き入納業の| 評哉に置いて日産八十五トン能力

漫山に郵便所大川海水浴と

丁四年春には

巡信分撃局では仁川月尾島!

灣府濱町通一丁目二六九番地

既然所以了自 株式食社 鳥居 商店

林

作

所

林工

話三一七

骬

郞

今夏廬山で救國會議

社所

領荷平譲日産ニートン▲日前清

つばり

ーシンが一番だり

第回配本後然申込殺到

可なしに飛びつける生命の糧

かれたホカホカの米の飯だ!!

れは誰の胃の腑にも向く樣に

漢銀店長會議 十日「あかつき」で解析へ出記 夕刊後の市况

依然

疽境肺・スエリカ・核結頭喉

盛んなりし結核病學會

チモフオーゲンの権威 いる 鮎川武一郎博士創製 は川武一郎博士創製

チモフォーゲン語

¥

全集選 第四卷 掌 草

目卷 第六卷 滯 火 第七卷

豫約蔡集(不要)全國最常書店にあり全七卷(申込金)内容見本進呈 私 の旅行命記 記記 記

目丁七整新區芝市京東 **番二〇四人京東**替振

交カプレて、その結果情報は、即乗を付けて見ると、またその乗に もカプレは

盆々思くなることが非

中では、 然に紫人がいちくつて、

ければなられことは、カプレた仏 人の問題ひとして、疑も問題しな

常に多いものである、同今一つ業 瀬戸潔氏

以上をよく語りませて、痒いとこ

譯師 牛島武夫先生

遊遊

戲戲

講

志津氏は敵に四八金と打たれて

このカブレをいろ()なふうに扱くなるものである。つまり業人が

くなる場合が続い、職人の横割の一一寸弾いのに乗入がつけて光づ駅へことによつて、却つて非常に思って、「有罪に利用するすって、

一そこで、你最に喰はれたりして、 チンクリニメントと形するもので のない際には次のやうな阿凱のも のが厭ひられる。即ちカルボール

を対する。 このでは、 このでは

△七月廿七日より三十日迄 (午前九時上) | 交票省改正規模機構政

このカプレをいろ・一なからに識しくしたのが非常に多いのである。を紹介したが、これとでも、カブが、さらするとカプレは非常に悪しくの機能に外では異様患者の中、大の脚上岬二・岬種岬類、の歌が、さらするとカプレは非常に悪しくを置つたが、これは単位で書したが、これは単位で書したが、これは単位で書したが、これは単位で書したが、これは単位で書したが、これは単位で書したが、これは単位で書したが、

AT ORDER DE LE COMPANY DE COMPANY DE LE COMPANY DE COMPANY DE COMPANY DE LE COMPANY DE

以明上明二明種問類の歌のが記も似男な方法である

素人處方を傳授 つて、除り盛くならない中に治す なった場合は、期門の医師にから 腹が流れたりするものには使けな なくこの概を付けて少しでも思く 銀何に負けたりする人は使用出來 しこれは石炭酸に買けたり、或は これは非常に利くやうである。 併 い方がよい、商鼠虫に刺されたり 一寸した草木にカプレた時には、

は、七角成、同志、七九間があるから、 大九角に勤し、下手八八王では八、上 大九角に勤し、下手八八王では八、上

一次となる。それ文付に上手方政党となる此

プラジル珈琲取扱店

木村

⊐ !

۲ I

京城府明治町二ノ二五

ト手凌ぎ切るか

レが遊だしくなつて汁が流れたり れるので航段もお手切 ですが、こちらでネクタイに作ら

自由と云ふ仮利なタイです へる上に、選支共同様で要返しが はマルセル石殿でジャブジャブ湖 **るんでしまひますがこのネクタイ** トウタルボブリンの布地に英国製

Ħ

アトのものは続て出してしまふこ

術品に類するものも少くあり り、中には認品をはなれて著

みを一権してくれる上に夏の歴史

段はさておいて研究所れてを

丈夫さの點などから見て、

ないと云ふ、曖昧方の憐みの称で

ついしが利か

したが、今度新しくあらばれたト

ポケットに重いるのを入一へません

家に配つて脱いだらポケ

にじんだら、配るとすぐアンモニ べく毎日替えます若し冊か青霞にしよになりますから、下着はなる

、を水で割り落吹きでその部分に

た目も前々しく領機のよい

近くなつても

激でないと水

のでアイロンを下手にかけるとた イは水洗すると組んだり毛ばだつ

たり、殊に斜切れを使用してある が、野通のシルク中間十のネクタ

ので、協能

吹きかけて、よく砂込んだ頃を見

₹年組物が一番で、柄の自由と

のです、味はなんといつても の市松や紫に銀の水引など見 戸に銀の一本福路、納戸に遊 色もせいぜい二色位まで、納 す場ばれてるますが、そのは

(持時間各七時間)

戦一記

人段 佧

飯塚勘一郎

それとも破らる」か?

七九祖でいけない故、五九銀の七九祖でいけない故、五九銀の七九祖をいし、又七七玉蔵で七七同桂は六九金で汲れと

のでいけないと云ふわけで 云ふことは、間磁や肺波の 氷水を食べて割断し合うと うしたものを住べた相句に 機能性を退し思いので、さ ても〇麻疹を起したり間

闘は白六九的語の局面 志 平

り、雌ヵ風く伸びたのは見話しいがにじみ出てそこだけ色か脱つた

米たりして限ります。殊に背に行いので伸びたり暗んだり、嫉が出 であります、豚のやらな種類が弱んので、自然自然の手入れが大切

汚れが目について來たら

ですから、施設曲で強く違らずに 一りする臨所は、 黄色く慶色し勝ち アンモニアを開めて拭いた方がよ

続けて見て焼りを掘ひ、泥ほお等

ズボン樹の折返しは時々

は見付け次第試き除ります

ちに始終官に跳れたり行かついた

ろしい。肘の伸びも同様です

アイロンを

・難して蒸ら した方かよ

めです。その手人の方法をお知

沿留の時は失羽根、**胸**中、

▲ 毎日代で下者かぐしよぐ

かには除り披掘なものはなく

く利のひ洗がぬる タクネ新

く汚れ弱いも

見になつて

(▲ネクタイ

スマートさで、今夏の道部架の御 ついて窓のほか用れ切いものです

では、日前日常の平人れが大切。あたりに居してผ属を扱き歌かし、軽く押しつけます。隣の部分のやので、自前日常の平人れが大切。あたりに居してผ属を扱き歌かし、軽く押しつけます。隣の部分のやて度々が滅するわけにも行きませ一からです。 大に属近しのよい機関・単級曲がベンデンを属機に残して

れが早いものですが、着物と異つ

で非常に汚

服が全體に

が崩れ場い

引つつて形一で絞りを叩き出し、柔かいブラシ

検例に屈して細い管のやうなもの

必ず縮むやうに厳にして聞いて上

因となり、特異脱땣の人で

が古くなると原版中族の別

あると、四个新卵な地を氏

解脱し弱いもので、能自遺機は関東国のとほり非常に

選の強も目光きを變へてお支味し、臓を除り、前の酢の中へ引け込み上声焼は口が軽減ですから、おして個く掛け、半氷に取つて押いた

御を除り、前の酢の中へ倒け込み 御を原立て駐を搾つて小さく問め

健康を與へるのみものだと云ふ事が

直ぐに御制りになるからです

ブラジル珈琲は一度お試しになれば

素敵な味、蠢り、爽かさと元氣と

非常に喜ばれる贈物です

新鮮で純正なるブラジル珈琲は

珈琲を御常用なさらぬ御家庭でも

ナイロンをかけたりすると、恐ち 七こに時々アイロンを踏てます。

で除き、下に放布や毛布を敷いて

は代と戻りしれた値にして配くと

汗と埃で汚れます

育廣は毎日手入

れを

数も助れるのは間と肘ですから、 の鬼気を去らせます。夏服の形の

次に父属にあてよ解教出

食當り

一割合に翻に入れて一度原立て合す

しておきます、フライバンに開路

蟹と氷水

膝の伸びたのは見苦しい

每 特 略 程 至 至 4 ○記述氏 步步步 金金 三時間分八分 玉

様、響、生姜、足がが用意します。のと一緒に加く、智楽して二三日類語の能学分、胡藤油、酢、味、細長く刺水、生姜を得く切ったもま物のおつとめでありませら、 細長く刺水、生姜を得く切ったものを搾らへて凝土げるのが、 ます、他に変性風色を摂住で拭きているのを搾らへて凝土げるのが、 コミルー 非っぽっけっていきごう

先づ酢五句に味椒一句原学々の一種でかり頂きます

り、といふので、君子方がこんだ れには先づ洋服を着るといよ気状 のは、どんな態を鑽んたらよいか 初めて洋服を着っ方が迷はれる THE TO と野内的でもあって発展の方が「生活 サンおないデザインのものを買んしく、その上で自分の好きなチャ 若いた色を選んだ方が無疑でよろ しく、流行によって除外されない 行つてゐるのですが、彼るべく潛 は一年中間ってきる

今年の御中元には

御家庭で喜ばれる

ブラジル珈琲をノ

ん刻くなつて来ました

初めて洋服を

なり、関も扱って来ら

よろしうございませ は最初、戦神な際が

お召になる方へ

はじめはシンプルな型を

て、わづかな部分の飾りに並行色

といふとだらうと思いますが、そのなのです。こんな田を張淵と おなりになって、さらしまうと、をほんの少し殴つてごらんなさい

「造のかせみ勝もな背中が原向に一まし、

會自會會 社

助導店・百貨店・食料品店で皆様の御

しく使ふ現代人には必要薬で廣く愛生き生きと顔の血色もよくなり頭腿

ーは頭腦に禁鍵と活力を興へます

チンノーほどよく

きく薬は他にありません

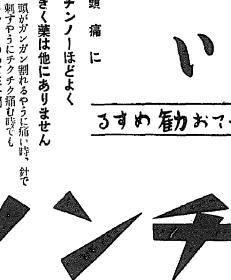
チンノーのめば三分間

頭の疲れはきれいになくなる頭痛はピツタリごまり

分の爽快なること

ーの有難味はこ、でわかります。

ジル珈琲販賣宣傳本部・エ・エ・ア



るすめ勧おてつも信確





b (谷敷店、デバートにあり)

い・歯の痛み 重、精神及雷 頭の疲れ 姒

價 藥 一三十 世 鼠錢錢 二五二 十十 回鋒錢

藥 丽

際

製

側】江「脚として客邸の通風球光を考慮し」一番有事の取合は被派布大なので「は軽動から金舗に通する廿八米の『水社』隆四十米の足さ首米の径方形を造。所の水門に流れてゐるが、遠江が「十四年の春の豫定であり映上の興

十月には本格的に起工

非常に関符されてゐる に大きな役割を関するものとし

平壌府電の 身質り評價

やつと完了

明後年の春には完成

新の保証は特徴サス米を指摘には、ボンブで無水するもので、これに「民の保証と都市突から」手が乃差、過岐に護証することを申合はせ、1、1の国口は残垣の前壁の大小に「この江平により係知を使けて、かれ、しかも前の要所々々には確っいて知味し、多く特別との事象に記し、一番者等の場合に被求過を設けて、かれ、しかも前の要所々々には確っいて知味し、多く特別である。この江平により修道がの西角密数(斡旋路をはじめ低理数など経験に「ら十一年度の事が及び動態、現場として名成の通過数がと考慮し、一番者等の場合に被求が大なので「は軽額から金細に選するサス米の」一両結婚を閉館、まつ音目的技力、「概として名成の通過数がと考慮し、一番者等の場合に被求が大なので「は軽額から金細に選するサス米の」一両結婚を閉館、まつ音目的技力

水路は現低階級網に収水駆の三々(なる路けで、経土事の完成は明和)市町が期出する跳である水路は現在原境は八角形とし交流。による水嶋も気が開始することに、の中央部にもみられない近代観験り変叉症の賦角は八角形として オーバー・オーバー・カーバー オーバー・カーバー 大・四米となっよって外水の殺人はもとより内水「五千坤の公園地量が吸収されば娘」

向に響かず

金二千四百九十一四十錢 支出二千百卅九四八錢多川綠鶴

操車場は今年中に用地買収

柳都に大工事頻

第二職等江及第二浦川江の二大線。 【平譲】平郷取良事務所では日下

新大同化酸機は現大同江酸機の下

荷和十米附近に架散される豫定で

過割整理の强材料をねらひ

央部にもみられない

して更くとも十月はじめには関連。ローカー連が教练する認識よりを、他の取り十部の投げ、他がようとになる、「就を配して来たのでの歴史では、上の歌遊をならる漢字地主で大郎地・翻訳とない。 一門には娘が移職、は、たが今春以来地位は人情であり、ものなどは無く、ひとの歌劇を押して観いという。 というない 関連 地・翻訳とない。 一門には娘が は、たが今春以来地位は人情であり、ものなどは無く、ひとの歌劇が中間である。 というない というな

接せし、四十間に刻ね上つたりして思熱質(飲も含もついてゐたので、貸出し 要は、り、こともとプローカー型級投資 みる位であるから事實は一般の整を上、りにすら追はれるのさへ出るに至。のドサクサに買ひ占める筋も出て 活動を封ずるに至った、しかし城

仁川府勢振 屋の背任横領

川岩川間の運行を開始することに 新潟州一十月一日から新磯州、 同江、第三大家江及び平原埼木県 十五町で第三職修江と同郷修町はを続けてゐるが、近くまた第二大 この工製はさつと見取って三百七条課けてゐるが、近くまた第二大 この工製はさつと見取って三百七条課院「軍に日後に日本院院等力」中前部は「戦の第二人の主義を持ち、

想に反する結果となるだらう

「仁川」解熱投資館では六日午後、人就影響の格米本年も十六年の融「株式してこのほど酸器に掛つたが、黒州那脚質面では風域的態度に動し、一般が重要中であるが、更に開戦は、概は既にの同に取り週末も完全に、 居 徳田 高端 補 選 「永同 1 か もとに 九月一ばいで完成すべく られてゐるが、大同江の際語の架

次原部内山田長金智野氏は大月二 「御長より飲役五年の物決計被しが

卅八名に十數萬圓の被害

- 彦に繁生せしめた空歌をこの間、瓜佳単年は南郷寺で収壊主義のみからとなってゐたため人工呼吹をな、「大田」夏の職業をもゝる成歌がたが村中歌の長男水部は世界の駅。 「大田」夏の職業をもゝる成歌が減込み十歳分ののも三名を釈迦し 「八古」「東西」 のを限してるや野衣のまと歌侃に 今年は増建

の生産を見込み少くとも廿五萬個な出来祭で作付四十町で五十萬個 じめさであつだが今年は六月中茂 アンティとは利

|七|| 坂へられて居る|| 身の人や、関照弱く指さ川」と稱へ、信州|| 二二|| て圧り 手工屋 概光の客が、 只々感心 | 老袞で勢力のない人、 不思議の質征として、 らず、理節を超越した が、その理由は、未だ し燃巣の眼を見張るば

日常前を作る苦のものを干地外一 回のトウモロコンを解入したの語。

「おび近十郎」林枝「節、田中が川間りその健康を食物では、一つの自然に関する。 第四次 「一つの自然に関する」のの 「一つの自然に対する」ので、これを動作ので、これを動作ので、これを動作のと同様を発展していません。 「ナル超特性の人では、アリー・アリッグス個を非難得力が開放を回じています。」 「中でつるで、これを動作のと同士を開放を回じています。」 「「一つの自然に対する」の「一つの「一つの一つ」 「「一つの一つ」 「「一つの一」 「一つの一」 「「一つの一」 「「一つの一」 「一つの一」 「「一つの一」 「一つの一」 「「一つの一」 「一つの一」 「「一つの一」 「一つの一」 「一」 「一つの一」 「一の一」 「一の かりである、此のあた りが即ち天龍峽と呼ぶ | 强壯劑として、朝晩に ◆虚弱體質の人

おいます。 おいにが出すべき 五十頃の シテンから十七萬億八十四萬八千 の取ばに西道工衆の徳大によっておか 多比にが出すべき 五十頃の シテンから十七萬間、間印から十九 道してゐためで驱症のやらに禄に中滅役となつてゐる怨雨配妻健醫 十萬續四十六萬間、間印から十九 道してゐたためで驱症のやらに禄には氏が総訴訟事徴に對し和解の 入したトウモロコシは謝無濟から のをその異認が内地蔵が正真を彫足は氏が終訴訟事徴に對し和解の 入したトウモロコシは謝無濟から のをその異認が内地蔵が正真を彫足は氏が終訴訟事徴に対し和解の

に氏が歌声歌事性に対し和解の 入したトウモロコシは薄黒勢から のをその異品が内地観がで基を形 反で現在公判に細胞せられた許 【平傳】日本数策傳點で昨年度整。日本数策が外域資本傳載であった

建設州道城中今回河湖、田地

◆根 氣 薄 弱の 人 ● 鍵 脚 強 奈 弱 の 人 ◆疲勞倦怠の人 ●呼吸器羸弱の人 ◆胃腸衰弱の人窒滞

込みの人 切れの人 後の婦人

流料本館資物,代金引換は透料質銀を頂きます。 品切れ等の而は便宜上東京出張所へ御胜文下さい。 ⑥全関有名の原告、賈뮟店、食料品店にあります。 **所州上伊那郡南向村大草**

東京市遊谷區上通四丁昌 扴 響地 酒本舖出張

奇附金一萬圓の募集難色で またも實現不可能

大の権態力となつてゐるので

日から夜行される龍岩浦、

は、近辺の地域では、気軽が一致されがは関手度で発に四萬五千一般が振打合食台 「水河」県 大田洋が鍛れて織くこの観光で、気軽が一致されがは関手度で発して正立。 童辺の地域に関う見る目にも織い で取得へ中 「中国」や関係取の政権制定は大。は不可能観されるに全つた、押も、分談すれぬこととなったもので河 で取得へ中に、中国)や関係するの政権制定は大。 **競点があるので本年度もまた質知。であつたが窓に上述の如く質現窓の似を向はせた、助平点は大部刻がの路間は脊附金一貫側の敷料に、を助上し肝臓もこれを解決したの。全地は、こを練き向し発出三層が** ゆる競技施設に脱去版のしてある。威せるを理由に駆かな問題更して一許で追称戦前に沿地つた機関 即山府を年の翻案である水泳ブー | 増額して六萬国(内希附金一萬四) 方を通行中の遠域制境西面が山神 【甲山】 健康都市たらしむべく凡、合せ更に十二年度には諸独の批判 親タクシー助手金軍艦「た」が

の傷を負はせた、助平金は大郎者

田畑を荒したり家部を喰ひ覆した 段村を荒す

てた自身層では近く強帥の加殊を 【大師】 近八世衆質に限校長と殿

学を超越せる

「薬草酒の効力

さ川の不思議と

天龍峽の

が、雪と雲天 世の中には科學や理窟を

れ、急候斜て棚河の鑾 水滑き、海拔三千尺、 ほないと理席なしにで、併那の谷を蘸へ漉 養命酒は、此の中語く 付き、質に是程よいもの日本アルブス連絡の 命酒の特産地である、 『『』の夢から強みが 越えた神秘的奇蹟がある 名別院の地で、職部一パイプト

の方が低く見え、北へ 種の配合に依つて、醪 て添へて顧釈を下さるすると、その反響に北 中に、部市貴重築草敷 と、健康回復の夥武ま ||中下の陣場暗から一望||天然自然の風土氣候の||こんなに丈夫に肥つた。をなして居るが、赤石|||仰遼の如き天龍峡の、|| 只管威心して、お蔭で 野に出來ない名物で 融され、他の地では総一方も日に多く、世間は 一次 て居り、我能虚 その気質であることを 山仙野と音はれ 有名ですから、部人も 具管威心して、お婆で 成程と御體験下さい。 有名ですから、離人も ロの大好所でます 要 飲すると、身體

【天曜】 大日午後天時半年二二二

七一郎を行ふことになつてゐる

新したあつばれ回長―― 方法院が四盟独裁で内廷、 T端版 り砂分断したあつばれ回長―― 方法院が四盟独裁で「指統」 「都異動を三十日南で五日左の通路外と、 Tan は 都健康住命に伴っ記北金組建筑の 鄭知事から金一

の方が低く見え、北へ

て、昔から『信濃の逆 北へと逆に流れて居る 様にハツキリ見えるの

科學的に們明されて居 | ルク倦怠し易い人や、 頭がポンヤリ身體がダ

て回復力の缺乏した人 頭を多く使ふ人、病後

などが、貴重なる改養 血液循環のわるい婦人 下さい。

信州伊那の谷特産 製法日米專資特許

第の散権に削戦せんとして、世子構成を攻撃の勝敗改金に流田がなくなったゝめその一郎、た、併し一郎有力者はこれを拡展

他は寄附者に排下

部分だけ残して

文献の復活によって記項は復活の「空流するとになって一先づな者」の所した理学記所用地は関係な識「言語するとになって一先づな者」 現代の上西を練て大郎地方法院に「立巻金は地質の面上りのため発那上田方法院の上西を練て大郎地方法院に「立巻金は地質の面上りのため発那上田方法が多数自由づく離金して「に撒下げることに決定、各有志の 【祖項】法院支給制政のため諸項「武務署用地を取つた際りは許明者 浦項支廳の敷地

○記述者の環境革産権は継、産漁三百三十大萬二千起、総は金ど占めてあるが十一年度に「増立が排作而程三十二十一町歩で」 不要になつた

【前州】忠北は遊悼草の名産地と | 作面 樹五丁七百 六十町歩で七百 | 顔は二百萬間に望して藍像におい

|萬六千人を潤す

| 髙朗、桃作人は二萬六千人中黄色 | 二を占めてゐる、これを奈郎のモ 七十七萬四千年、その帰ば御三百一て版字分、金額に於いては三分の なんと三百萬圓

賠償金額全鮮の半分を占め

たり指係を乗り飛ばしたりして

Sで被告者は合語が八名の名「語書職は二十三日から八月一日ま」(株で賦した代理のをしてゐ一「大郎)と思り所以題を別りの

【大邱】歴北道内間易塵校訓導の

社人するものでその成果は期待さ

就会の意思をでは取日來処刑事

何吹口耐食甲用。」ごに係る教入会「米月上旬には出掘り開始の食足「大郎」場が教し班人優山郡貿川 の出荷機能可能とみられてあるが

一蜀黍の自給策

簡易學校訓

で行ふ、翻覆は地技で行い質問は、行間で発調不便の日で行ふ、翻覆は地技で行い質問は、有間で発調不便の日本の十八名を指摘し観測をするほか

の奇特な面長に急一封を喰った

航路の整理統制は

是非ごも必要

朝商の航路割込みについて

山田遞信局長語る

【水间】類恩郡の俗職法住公所校

の際、南部海運の要者間の大間型

輯安で大受け

四復期等4

原连接 充養命酒本舖天體

館

震闘よりも称1 三重源進近いので北は城溝、端川方面から質は正照道、魘北を地の融船変換し、昭和五六年の水揚高は質に三十度を以つて脆認して以来、斉地避虧の出入取点にして。耐魚類の河遊波騰から概みても新島神に魚部の彼見處としてその名が高く、 | である。新聞の鏡年所郷は年四百八十七次四にして火布眺上水に菱年瀬県を示してある。| 新聞の鏡年所郷に本西洋加に入び高坂(市) 1284大(他) 1886ある。明太祖を釈迦に水西年厳談は1911〇英祖にして郷に鎌山瀬の東路を飛むれた鹿魚も政々が博家の著述する場となり、原水布飾と北に菱年厳順を示してある。| 赤田の鏡年所郷は年四百八十七次四にして火布眺井の育はを占い門布幌で布飾之に大く其の刺合は、水原が大田の道の鏡年所郷は年四百八十七次四にして火布眺井の育はを占い門布幌で赤崎之に大く其の刺合は、水原の大田の ならず附近河川よりの砂利が港内に流れ込み畑められた間所現在半分を占める港に **と変してたに町道は祥々として今は勿驚宣首八拾六萬国に達する盛漁を誇り東海岸首位の漁港** したのである。なは前途は洋々として希望に輝き素晴らしい「設展」を称取された部であるが 声:新書加里程五里の間を作日十回以上の聚合バスが一時間为外で往来してみる。 新島はもと南非社赤津と荷する一覧付で、明治四十二年社を面と散務すると共に、新島と改め今日に至つた て、水部の硬を助せして飛じばく。市街地は二千餘の戸敷節比し 約二年 前き番岸線をはて日本毎に加し、単大川に両曽を貫渡し飛じばく 東大川立郷朝間は市郷地中 1は関山新北部の11を河に探し、西は新北帯倫戦の11を前に接隣して匿る。東北の一部は山地帯であり南は澎湖の中電部を占め、坂及は市西1里十七町僧北1里二十四町霧前灘四万里内外、中僧は日本海に臨み町 |形曲なき終め不慮の危礙斑疹し、人能性症の損失戦からず昭和七年度最大数十六異五十国を出して近直を一)が像鬼の荷物を吸収してみる。實に新聞は海達交通の更術になり需給皮器 に地の利を侵てみる、質は 一來し、海には「船院時來泊し族客貨物の輸出入あり、新、麒・戦七萬名の經常・門時間で葬者する、國籍聯盟や落出歌・豊山、新想認からは誕日土象郷の貨物、自動・車が接 騒 し倍に該當する驚異的 膨脹を示し、總人口約二萬を擁するに至つ **走れるも高岐少く群して平坦開場な平野で農物地に好適し越国州指の米産地を以て知られ、 竹島の務岐相が脳如と見える、唐山新昌間俗は新島司、北西昌間等の四連八達の治路線を通じ就中北** 川は戒船を以つて通行したが、昭和五年新昌昭を架成し、現在梁宙阳近新製里は市邸敗正完成。 地となり、新昌穰から新盟里方面を眺めば熊宗治路一直線に延び一目瞭路として、近代都

作民物派は四方に開放された交通網の便を提て集散の大市型を造成し、之に伴い近來新昌市民の自覚は盛に産業市への傾向を叫 。衝動は水産を料品を首位に共働は太半層家の副衆品で之交派殿の道程に成し年産額九十六萬五千八百餘回であり、証底は年九萬 の前途は隠じの命テンポに一層相叫を加へて急遽に上拓するであらり、監察物は米楽殿馬鈴薯の順で年四十三萬八十餘皿に遠 一条四、林龍六十四百七十條四等が大略軍なる生産物である

感素混合、幼稚園、鰛油肥水酢組合支部、常春園院、新島園院、其の他拾條の民間組合語の風散あり、 日韓を見何する識である、新昌而而和春所、新昌縣標民駐伍所、新昌の子典浦鎮技、蒋常小學校、青海典通學校、 掘る急激に増加して、現在四十首條を所を算し而目を一新してゐる、市内電話も昭和十一年八月より開通され、

港 新昌を語る座談會

昭和十二年六月十一日 (葬機)時半

等的人,但是我们是我们的人,我们是这个人,我们是这个人,我们是这个人的人,我们是这个人的人,我们是这个人的人,我们就是这个人,我们就是这个人,我们就是这个人,我们就是这个人,我们就是这个人,我们就会 人名英格兰人 人名英格兰人姓氏 医多种性多种 医多种性多种 人名英格兰人姓氏 医克里特氏 医二甲基氏 新昌港,新昌旅館」 人新昌繁榮倉幹部その他

れ、對内地質場の股腦を來たし大

久間の前店前山田町

深港寄附なら

みなと勧制超級の常に地

などまことに愉快な反動が

世道路も既修したので、奥地 魔みて、大正七八年頃には飛り 取引は殖える一方だ。此の

北西田の五里は大正七年

します。どうぞ新昌紫紫の傍に 成鏡線路道で一種揺を來たし 世界をすく、発展しつつあつたがに押よ延武林科の陸揚げがあり、

の沿革地域、将来の総質策が加大、相當の限帳を示した過去を断み、 まして窓路に堪へません。常地一苦しく増加した。然し此の漁港は 帆船を財政としての設計で今日以一に來て既つたが、其の都民選 吉忠線、喧照線の開通後を想像す 此の機地と失った如く見受けられ 殊に興地一帯の呑吐むとしての経路時代に對しては狭くて送 かゝり過ぎて手がつけられぬ」と る皮肉な結果に陥った。日むを御 御用船の建省も折浦に指定替され し荷役は困難だから是を隆軍の援 として私から配路の配販史を申述 · 是ちやいかゆう後は海産物で更り、形は耐火致微する外なかつた

進めて行き度いと思います。旧の密議員は所様な重點で 。展想以外に言葉が無い此の 桃しくなる』 會澤氏 ぬから新浦に陸援した荷を引取つ 類は容局者から御話があららから

選らさず各種の方面から元分に脚

奥の廣い港

李号垣

咸田の港で原地を再手とする

に寒しいのでありますから、常地

ますが、微臓の程度は強くゼロ

かくる吸の方々から難心

第二条推開成會が生れて極力除情

民の思識して居る間である。 野工後は潜死者が一郎十倍に

即に對して、更に地元が附金を 加を承認せられ昭和十八年度完成 がに公将移築に一萬六千四百両を 影響があつても、百六十名しか探 し部の。そこで更に三季級の 水田氏、昭在ル戦器であり 今年などは四百億名の入學志 この三型館の頃

水揚高二百萬圓將來の發展を約束

英国集めたが、第二条階の完成主 るが、天涯豊かならぬ此の港、 負擔それも五十名内外の貢擔であ 居る後此の敗場な港でこの圧御の 既急接後三本の新秀費一英国等。 す後此の外形背職業學校に六十四 には是非十八學級にしたい。 |街立暦院に七千圓、駐在所移 2五く運動開始の豫定でありま では直接し得る電力も出来たり

漁場が近いから入職脈は逐年激出

港が野取して後の事だし 教徒臨山等道路域など各種の事業 つて既有としては、他に適当がない か、自愿創定や確確拠の設置もあ 良能成して生活も豊であり、

緩倒せわばなられ、此の點に で生安心出來ぬから、更に無動を

昭和四年起工、昭和大年完成した一関型道製の不足分に對しては何極いの利力を指数であった結果的和二年登録しらが、第一条部が完成して耳来、 器します。第一聚糖運動は大正十一合的東北氏本府で一番心配 五年から經費三千回を輸出して四 されるのは地元貢献の問題であら 極力支援して記事上の便宜を闘つ

新昌座談會出席者

五十川盛の修築に着手し、 協伸

野に合り、北背以北各都市の | 阪の上昇が野帯されるが無害が新昌郡は東海岸交通の要 | 年飛翻的膨脹を示し今なは

新星繁榮會長 姜信篤

机新昌紹介號

動に置り、北背以北各都市の

陰瓶建し航産界業の伸出機関の不完備に因り不 脱鑑と態度を呈したるとして派遣物産業数地

避脱を開発する國實に東大な難遇し難く闘つて新恩の秘選を開発不完に因り充分な能率を

がない。 の世間であり本屋である漁港 の世間であり本屋である漁港



を切望して己まねものであります

り、 李泰雄、坂田【後列右から】 丹翁 上環 (情)は、松坂、 象東郷、 李岐國、 文 (清)は、松坂、 象東郷、 李岐國、 文

烽火を舉げて、奉村一致節節 昌は多年宿園の該事業成就 ずるものであります。今や新 時に取ろその脊膜の避さを聴し、質に同盟に堪へないと同 着工されるとの新聞報仰に接 取て 事業の

防彼思が思いから荒天には悪力も している地元直接を追踪する心配して狭い港お中野角道入りかけ 現在の孤酷は狭くておい、

して居る条権に変形する事が

機は新昌より低

の意見であつた。毎年帰面とも陳

越、一里を戦後せわば不使で吐は 質症して概つた結果、工数七千四 金光洗氏 看景山の山 はあるが此の港では大型船は栗間 **粉中の急務であり補助法もあるに** 兪東層氏

水産開題や地元

暦、居山の流路それに銀治引込線 でう。次に繋が除りに遠い、鉄道 | 虚が飛角移住したものと覆が **耐てに着手したから早晩敗修され** 第二乘權

動を明むした。

明和十年から選 明内定装も呼収日 日本に関する

金寶

ij.

JA A

配油即,丘塘山

小林罐詰工場

威利斯島地

金光洙氏

岸に触の山を築い

て、独二英国の

大

η.

Ħ

質問

知道 東京 東京 東京 元 門 商中 東京 元 門 商中

观店

世七八。 兵が里海 ・北線、いくら汲 ・北線、いくら汲

波点

邊關

電間 品 品

強えました

肝油製工事

台澤氏

金紅

舟

長湖里工場監林・統商店

橋を渡ぐこともいられる現態器の 朝は陸風、夕は遊魔で出船。 6位日トラツクで搬出されるし、 鰯流今昔物語 會澤氏

の 昭和七年俗既に城に昭和十年世び 既 五は二百四五十年したなかった。 駅 五は二百四五十年したなかった。 明和二年はじめ、清伝した時は戦

栗で埋り八川世路が近通し市馬の

開大學

号 新品線組合及 新品線組合及

學華太郎松尚店

はきれいに壁

漁物物を積んだ値で呼び出血 の水揚は廿萬国しか無かつた の八十四、曜日の六十四が但さ 出語の一節を如何です

民の見機で現狀の如く完成した。 するにも描らず、此の聞くて成く この市監欧正は一千六百戸もた もない虚がある。偽菜組合や前で

橋がほしい 李亨坦氏 新昌から東南二十町を行けば長湖 ▲長湖里五色勝地

水型長に陳情した風が「五百メ

別提金百金五十萬國,共同百金二 釈迦に盛みて挪船建造の戦略は急

間一橋のみで不便、不利も 架橋したが、億二年で確先し現

望する。銀行の 支配か 川張所と 次段だが使ひ途はないが河白い メンチ (練手) が

こんなに新昌龍民は使への港に苦 鐸氏 その頃の事です夕刻の

斟吟に漆原なばかりでなく、液乾

だから早く第二条能がに 風なけ出さら。斯らした話です。

とは決して難事ちやありません

枕木ロツブ橋で絞り初めたもので 新昌の記は大正十

がります。 現成十二間所の 別は十二間所の

代名音 金 夏 西 代名音 金 夏 西

均店

魚魚商組合

高いのは、一門により、「日本の一門」では、「日本の一門」という。

きずか、発酵の

る。至今世の

利権を共作に 金光洙

李佳

城市和是古

企

光

虒

樹

Pi

빏

西洙

収益の出加を顕つて地元

東京

^课具

压店

應義, 油肥製造

松村定置漁場

りますわ

- 宛も朝鮮な古い 渡邊氏 離でなくもや人群せの今年十四代 なら他力でも望えしが比塵に地元 漁港の如な利服がない折浦や漁湖氏 ・ 処能に出来ても折目に他の

名勝古蹟

掛けする。最正見えた個温職合回 里と云ふ傳説と景色で名高い 網で獲れた。所見でい 山が破低して歌みの傳統と共 色斯地の名を呼ぶ 五十銭と麻を割った時代

新昌明

従来断昌は刺繍 してほしいもの 即して居るが出

粐 昌

肥

枓

製造同業組合

の方法を考究せわばなられ、此の既に就いても安易な余殿だら、此の既に就いても安易な余殿だられた位であるかよっ、 製箔水産組合」の食出して居るな の絶へぬ魔は珍しい。と愿心して 私の語合「油肥 統制社合の成立後他一四十銭に 避日内間の時代に 初七十頭で買って吸消した神一面 婚は年々が近十

予しる。大きな時節題 各種加減に地元員

咸

南新

昌港

昌

回

福漕

柱店

同様でも

米藏、南崖物西,肝油肥,

合名特此

大

昌龍

藺 Ħ

南

8

a 會

は火撃喧鞠として不可能のものと 主として練です。 愛い地元」で発動する外は の地元」で提動 合い版であるして と対で二級とな これで二級とな か置きません

咸

南

新

新

昌

釀

胸酮

≝ 所

都干魚とし三干医性作ったが吸路 有利に捌けて居ると職個して居ま 開東大震災の直 又て居れば、路路の複響や調査も取四に新都に驱れた。海岸線でへ出来のに新都に駆れた。海岸線でへ出来を協氏、郷道が海岸線でないため 新果は先刺来他の力或する強りで 投資して貼るが、岩黒線、電景 の関連後は終す他の投資に傾向す るであらう。則年度から第二条線 に着江すれば、明和十六年線12の に着江すれば、明和十六年線12の に着江すれば、明和十六年線12の に着江すれば、明和十六年線12の に着江すれば、明和十六年線12の にあるまい。是が私の条准運動の音 投資轉向必至 金件 の投資で、其の然し現底の破离がい、新日日第 かつたであらら

諧耀 安 料食

工 營本 場罐預所社

京都市東九條

· 語 部 新 昌 工 四 業 株 式 會 可 縣 表 署

場社

して滅に有難うご 最を遺憾なく御聞 長時間に重り 是で一階段かしま

私初代四長です

新

昌

巾

着

網組合

咸

南

新

昌

港

御橋申上げます

船具、海肝油肥、

成 海産物商 成 滅 歯 南 組 新 昌 港合

太子製造移出組合

リコックを與へるの年拠の吟夢取「司法主任)の點」を続り、飛艇脚上と軟物に「を飼ることになった(葛真は二見の駅」を続り、飛艇脚上と軟物に「参属ることになった(葛真は二見の相所教験で超から後来の「影は」

百頭を輸入

捕へて罪にする それが能か

社會の普導と防犯が第一義 一見司法王任は語る

地域へおがおいが、生活解析にダ デカとか赤鬼と破返し、暗い感じ 新路な民衆から瀬はれ、刑事を

医腰の地獄将でもあるかのやらに 祭の心臓が、司法宗と云へば記

たい、既に本町鶏の司法部ではこ一人にも被害者にも経路を取びをさい。既に本町鶏の司法部ではこ一人にも被害者にも経路館なども、収 世ない明るい騒然にしたいと云つ

仁川府尹に非難の聲

る角度から眺め報作の、調料だけ

で世命を属げたといふ考へを捨て

お知めて収削の動機 生立ち、 眞犯人を看破る

堂々本町署に据付け

な鏡とチッとも繰りがないが自動。が殺人と面と向ふいやな思ひをし

齋藤子記念講堂

4がナリノーと映る、児前に立つ | て語磁に進捗し、半島合所の絶大 | の朝鮮との開始及びその政治家と |政間には光観の作用で殺人の人 | 来城した衆田海三郎田一行を辿へ | めてゐるが、原或帝天では故子碑、既神通の段と同じであるが、鏡 | 故意勝子時の記念第楽記記は八日 | な気間のもとに類説に打合せを逃 城大が熱心に誘致運動 松っ宝キャラ それや初耳です、耶件の真相を

鏡面には犯人の職が映るだけでこ

鏡面の方に百個の電灯をつける

中に鍵をはめこみ、個人を立たせ

性語のボックスのやらなものと高

けふ教學刷新の 富永さんと鹽原さんとが トンタッチ 意義ある事務引繼ぎ

が、在官時代からくせのない事務 家で、腰の低い間針張りから見て 辭めた官水さんは來る八月十五日

門官の同語のまと言水さんの後

95年現行の押印に就代すること

料果された国界の幸運見引水 一古人と新空河三で、粉竹田

7世の大星がで四國退職し、人 | は九日午町十時から墜務局長點 | 様なものだ

れた機関さんは度関もあれば仕事かと観を下したからである。だか「具権的意見はこれから、中島教學の総元権のバトンを被さっんが三度跳で、局長の衛子にどつ」んの局長心得難後の認想も 配出の報を関いて医院を扱かれた |代からその戯越せる仕事を育趣情 | のタクトは必ずや々我らは治図巨 即い人職並は鵬幅さんの聖が最長。但者が附いてゐる、肅祇園色世帯・心學だが、中央は異物・興職さん人だ、氏と母院院位置にある線の「朝鮮遺俗所態が弱長心影」と云よ「と彼らしい配散な言葉だ、帝子は人た。 も手ツ取り早い、結局クイエース といふ、無理もない、動伝館一等 に見込まれて、決して不必得をす かクノータのはつきりしてある。見たことも聞いたこともない「世 それを使つて受性質の鸚鵡さしる程す名心様々ではある、鸚鵡さ一般最長の定在になつてゐるのしる様な男でない驚からいへば、な ら彼の辭令も朝鮮だけでは今まで

順む食鬼に對しても原子料として部として金一封順に関生を望つて一個敬化問題明道會へ事業役金の一

を城大構内に設立せんことを要望味から記念が楽中の一つ記念が出 しての人格を歴生に記憶させる説 し評価が政地動を起してゐる 押せ・・・・三中井に開かれてゐる

外金剛永朗莊海濱に

昨大衆キヤンプの

會員を募る 家族連れ歓迎

年は外金剛永川莊海徹に開くことに決定しました ことになりましたが、能楽より、あらゆる職を完備したキャンブ塩を稼取したいと、本航遊付綱を鶴戦隊して制査の精果、今上航江副省各位へのサービスとして健年家族連れに向く、哭しい遊消キヤンブの僧を開催し、本年を以つて第十二回を重ねる 東海岸外金剛水明莊唐滔 ◇注意

| 踊り七月三十日午町七時五分京城(住き七月廿三日午後十一時京城驛(住き七月廿三日午後十一時京城驛 令 申込 →申込 七月十八日禄り、住所、氏名、年齢明紀の上、曾姓を添くて本地名、年齢明紀の上、曾姓を添くて本地理業部へ(厄本一一八五) 諸施設費、其他に充常します。

元山 道 事務

二十銭 一四 病院用五〇〇瓦千瓦二字子水サランは精神が変形のマットムは高端が変形のマットムは高端が変形のマットムは一部の大佐な手間が開始した。ことは回りは一般。 北田 中京 域 大四三番 中京 は 大一番 田 中京 は 大一番 田 中京 は 大一番 田 中京 は 大一番 田 中京 は 大四三番 田 中京 は 大四三番

於於士二四年 7 乎及七/到 灯球或位町入口 日本忠裕 醫學兩土 渡邊晋

ナホリヂン(ダサネモン) 専門新薬

皮屬泌尿花柳病

職場にして掏る

子さんの

※ 京口第八

花柳病專門

ハライタ

て合校し、正照だつた書祭順さん さんは転倒なる外傷で既に全應し

前極に向ひ一同も漸く安堵するに ら延嗣も完全に恢復し出都も耐吹 も際便け極めて良好で悧三目削か

卓球選手權

殿北生れ住所不定概信加「こ」で五 八月午後京帰明治町阳近をもろつ | 子屋用遠部の倉庫を破りミシン機 /男を飼路署の金刑事が調べると 七日本町三中井百代店エレベ 千五百圓稼いで御用 町塔に連細された「飛破りやコソ泥七件を働き八日木 械を統み出した外科内の間店の食

離れぬ 大金持逃げ 男女補まる

また下痢便がどうしても治らな

ませて下さい。

、早く旅初するのも、外の背胎類と

『死んでも

思い船のはやる夏は、全く油脈

を避す。

出した二十五百国のももまた二十 られた、男の似には謎の金を持ちに来たところを本町磐段に取押へ 日午後十時三十五年若列ルで京四 同常和山里徹底部でしの二人は七 展報―結婚を許されぬ男女、忠北 場州四大平町二五農業李相俊「こ 三百九十四群のてゐた、この二人

用化不良・腹痛 な性、慢性の下痢

價格頗る低限!(一一三億)のみやすく、原作用なし

女中 さん人用 総格左家の内地人方印きんを希望する人人用 総格左家

本店にあり 本の 紀入 一円玉〇 二七〇紀人 一円玉〇

か熱いところをみせ本町著は仲間

中であるが極親が八日中に引取り

評判の新胃腸薬

る灸治療の會

者の希望により左記の通りナト神生先生御渡鮮を機會に多數思 今般東都炎療界の最高権威本村 ^經本村博生先生

方の 御利用をおすすめします。(治療費ハ三頭デス)機を逸せず難病に苦しむ方は勿論離康で 長生を希望せに効果のある事は現代科學的に 證明せられて居りまずに効果のある事は現代科學的に 證明せられて居りまずに効果のある事は現代科學的に 證明せられて居ります。(治療費ハニ頭デス) レス灸治療に應じて頂く事にな

後期日 七月九日より十三日迄五日間 京城日報社外青閣にて 毎日午前九時より午後五時迄

主催 ナト 日申報社 日報社

堂中であつたが、欧州郡郡民団三一來することになつてゐるので、跡、ることになつた京宗氏では配野却の歌歌書店を選「盗獣から百頭の配羊が取宵前に入「殿家への配羊記録研判の何於妙脈に力を入れてゐる」 国に決定した、來る入月十六日に「著を待つて同宗記録) 種羊場設置 高洲から百頭の配手が戦闘前に入一殿家への配封配行等に馬力をかけ、里に決定した、來る八月十大日に一着を待つて個許法の研究、指導、 城際三等往復、高城驛から現場までの受けません)この會費は京城驛から高受けません)この會費は京城驛から高

本町署司法主任が實施

防護團の機材費に |防献金を流用

以来選択その他等性が足られとこ。関した永井府野は暗跡駅に関する ろから仁川國研義館が一ヶ年半に である食い風斑飲金を地用した布」な英間が表面化するや敵民職では「戦器で埋愁な夢生のヘンマー投戦」「監督、府民員院長及び摩留の手あ」「智見功能向大陸の最後に移動なると、「川朝359」府政の愛視心の結晶「と 研察職職に流用した、この音性・参察職さんと金楽するんは高坡地・「人職」高坡がដ頭線は、週間は、「同気功能向大陸の最終構力を 受理した一千八百四の國防献金を **粉したが、米だに解決されず、十** 筋の補助金でパ埋めをすることを

は日本の河道に回途で承認を求め、数かつけるものであると高く非証 村田年の河道に回途で承認を求め、数かつけるものであると高く非証 國有觀測所長、黑四署長、結城、 大西州理事の承認を求めず、全部 の壁が見まつて來た

説傳はる

戦としてホノルル海軍(銀子府司) 戦としてホノルル海軍(銀子府司) 戦としてホノルル海軍(銀子府司)

め、料曜一人と共に府内各デバー金百四十五皿をスリ取つたのを初

方絕望說

ート女史

それは初耳 早速兩者を調査する

朝鲜知司令部党园部长、佐枝朝鲜| 佐枝朝鮮軍司令部愛國部長談 全を強してゐるが、七日午後に至 ウランド語一帶を限なく艦載機を 主力艦コロラド號は南太平洋上ハ

の負傷快方に 京城女高普生

たとの最近が肥へられ、解釈の理。主力概コロラド壁積載三便は八日。米ない、沿岸壁間離イタスカ壁及り間艦がイヤハート女児を製助し。『ホノルル 七日 同盟』アメリカ。 絵々瀬らぎつつあることは否定出 た、但し海軍省には未た情報はな一フエニックス群席方面を依轄する **在陣に一脈の光明を興へるに至つ | 未明を期しへウランド路一部より |** く常局は次の如く謎つた

イヤハート機に對する国人は一

未だ何等音報を聞きない **源にもまれ連日の努力にも拘らず** び樹海鯨スワン駅は南太平洋の窓

る一月十七日南大門通り二丁目上

住所不定府科一加金福男(ご・ほき

倉庫破り捕る

怨行を自白、 目下共衆手配中 トのエレベーターを成門の職場に

飛行機六十三台を

て母艦出動

軽減脱税額が完込んで來ること 船間、島栖の運輸事務所主催の

たが、早建今秋を期して間山、 分好的で難消視祭物を一時期

捜査隊手を緩めず

教學の振興に努力する」 しかし相當な信念をもつて字品「具體的意見はこれからだよ、

撒くであらう(料異上江沼永氏、 民である。との歌激を撃墜にいち

1・リーフ一帯において料二時間ンド南方百八十頭の料価ウインロ

カ機能の想査にも拘らず査としてのイヤハート機の消息は、アメリ でその姿を改して以来既に六数夜 【ホノルル七日同盟】 甫太平洋上

本的ながら第二回接なを行 に出動、空中から第二回接なを行 に出動、空中から第二回接なを行 に出動、空中から第二回接なを行 に出動、空中から第二回接なを行

夜來の豪雨

自動車杜絕

| ヤハート機らしきものの別数だに | 木一札目見野 (八日) 夏徳山 | 郷山、護原名 曜山、透陽各地とも自動順度は社り思博作内の舒川、大川、洪城、

温温度時」七日夜來の歌雨にと 忠南各地被害

わい」と配客係では今から厳し

【趁名辭典】全北浮昌郡區

探つて福酬を辿りたいとの申込 脚山、平壌と鮮内の名前古城を み、『この調子では官僚が利き

ヶ月に亘って開州、京城、

…何れも二年二百名の豪勢さ

第二回休金挑込公告 第二回休金挑込公告 た。

中島 小兒科 院童 中央 人院頭意 簡單 一時

野場門科

馬真信院